

「学び」「育ち」の新しいスタイルがここにある



アクセス



 小中一貫校 **むくのき学園**
大阪市立啓発小学校 大阪市立中島中学校
〒533-0033 大阪市東淀川区東中島4-8-38
小学校 電話：(06)6322-0120
中学校 電話：(06)6322-0333
事務管理室電話：(06)6323-7666
職員室ファクス：(06)6322-1394
事務管理室ファクス：(06)6322-4152

全市募集の施設一体型小中一貫校

むくのき学園

大阪市立啓発小学校
大阪市立中島中学校

むすぶくねんかんでのそみをきずきあげる学園

「むくのき学園」がめざす教育

系統的なキャリア教育実践

個性の伸長

子どもたちの良いところを見いだし、のばしていく

課題の共有化

はぐくむ子ども像を9年間の連携（同じ目的を持った、つながり）で結ぶ

進む路の確かさ

一人一人の子どもたちの「学び」「育ち」を豊かにして、次のステージに導く

グローバル化・情報化時代を生き抜くために

今求められる
「生き方」教育とは

キャリア教育

※文部科学省 国立教育政策研究所「キャリア教育を創る」参照

キャリア教育の必要性

人は、他者や社会とのかかわりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員等、様々な役割を担いながら生きている。その中で、自分の役割を果たして活動すること、つまり、「働くこと」などを通して、社会の中で自分の役割を全うしながら、「自分らしい生き方」を探し、実現していく過程が『キャリア発達』である。

このような一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度を育てることを通して、『キャリア発達』を促し、これからの「生き方」を学ぶ教育が、現代のような変化の激しい時代に、最も重要な役割を担うことになる。

小中一貫校で夢を実現しよう



Stage 1

前期 (1～4年生)

- ・基本的な生活習慣の確立（あいさつをする。早寝早起きをする。朝食をとる）
- ・学びの約束づくり（人の話をしっかり聞く。じっくり考え発表する。宿題をする）
- ・社会性の基盤づくり（きまりを守る。誰とでも仲良くする。整理整頓をする）
- ・元気でたくましく生活する（自ら進んで行動する。心とからだをきたえる）



Stage 2

中期 (5～7年生)

- ・生活習慣の定着（時間を守る。計画的な生活をする。集団の一員としての自覚）
- ・学びの深化充実（授業に集中する。学び合い高め合う。家庭学習の習慣化を図る）
- ・心の教育（ルールやマナーを考える。違いを認め合う。思いやりの心をはぐくむ）
- ・健やかなからだづくり（心身のバランスを保つ。積極的な体力向上の取組み）



Stage 3

後期 (8～9年生)

- ・社会性と協調性を伸長させ、「社会人基礎力」を高める人間形成を築いていく。
- ・自分の良さへの気づきと、学びの質を向上させ「確かな学力」につなげていく。
- ・異年齢集団とのかかわりやキャリア教育をとおして、感性や情操を豊かにする。
- ・部活動や体育行事などをとおして、生涯にわたりスポーツに親しむ礎をつくる。

9年間の学びの一貫性や連続性を「強み」として、さらなるステージへつなげます。

むくのき学園での「生き方」教育

つかむ

子ども理解のうえに立ち、自尊心をはぐくむ実践的教育を図ります

- ・発達段階に応じた課題を明確に捉え、教育計画を立案します
- ・「何をどのようにさせたいか」という数値目標を具体的に設定します
- ・各教科、領域での学習と「生き方」教育の関連性を検証します
- ・生活アンケートから、子ども「良いところ探し」を行います
- ・教育相談や進路相談を充実させ、個に応じた現実的探索を行います

つなぐ

「断片」をつなぎ、9年間を通して体系的・系統的な指導を行います

- ・9年間通したキャリアデザインを学年ごとにつなげていきます
- ・発達区分(Stage)での相互関連性や系統性を認識した教育活動を行います
- ・職業観・勤労観を高めるため、社会性や道徳心とのつながりを大切にします
- ・コミュニケーション能力や課題解決能力を高める学び合いの実践をします
- ・9年後の「進む路」にあたる進路選択を確かなものにします

ちがいを認め合い 個性や能力を 伸ばす教育の推進



1 志学

－グローバル化・情報化時代に必要な学びを追求

◇9年間で伸ばす英語力(小中学校英語教育重点校)

小学校では「フォニックス」(英語の綴りと発音を関連づけて、正しい読み方を習得する方法を取り入れた音声指導)の実践を行っています。

- * 小学校1年生から、英語の教育を週3回、モジュール学習(朝学習)の時間に行っています。
- * 小学校段階から希望者には英検受験、中学校では希望者に、英検等の受験に向けて補講などを実施します。



◇学び合う環境、能力や特性に応じた教育(学校教育 ICT 活用事業モデル校)

- * 小学校3年生から、タブレット端末を一人一台ずつ配布し、ICT(情報通信技術)教育を充実させています。各教室には大型電子黒板や書画カメラなどが整備されています。
- * 電子黒板のデジタル教科書をはじめ、タブレット端末ではさまざまなアプリケーションを活用して



◇教科専門性を活かした授業の充実(小中学校教諭の相互協力体制)

- * 施設一体型の利点を活かし、5年生・6年生のすべての教科で中学校教員が小学校の授業をともに担当したり、学びの連続性が重要な教科では、小学校の教員が中学校の授業を支援したりします。
- * とりわけ、早期に学習へのつまずきや、習熟度に差が生じやすい国語・算数・数学・英語などの教科では、小学校3年生段階から少人数授業を展開するなど、授業形態の創意工夫を図っています。



2 共生

－「生き方」を見つめ、進むべき^{みち}路を確かなものに

◇体験学習を充実させた系統的なキャリア教育

- * 小学校4年生からの新「生き方」教育の構築
 - 「百家掠乱」(起業家教育)
 - ⇒地域での職場体験をとおり社会性をはぐくみます。
- * 中学校1年生からは、キャリアステージに応じて進む^{みち}路を考えさせ、事業所見学・職業講話・職業体験・高校見学(調べ)・高校体験授業など、9年間で自己有用感・肯定感をはぐくみ、個性が伸ばせる進路獲得をさせています。
- * 進路先が求める生徒像(アドミッションポリシー)にかなう多様な活動体験を推進します。



◇共生社会の実現をめざした、人権・国際理解教育の推進

- * 互いの違いを認め合う人権意識の高揚を図る教育や、多文化について学ぶ「どきどき・四者活動」などの自主サークル活動も行っています。
- ⇒国際社会を生き抜くうえで、大切な自他の尊重・道徳心を身につけさせます。



3 自いつ

－「自立」から「自律」へとつながる9年間に

◇基本的生活習慣の確立のため、きめ細かな指導を展開

- * 「食べて、動いて、よく寝よう」を共有のテーマに地域で保・小・中・高のつながりを大切にしています。
- ⇒食育、体力向上、教育相談、生活指導、保健指導などを充実させ、規範意識の醸成を図ります。



◇9年間の縦割り集団ではぐくむ連続性・一貫性

- * 小学校5年生からの部活動への参加、児童会・生徒会の一体化した取組み、学校行事における異年齢集団とのかかわりで、あこがれ感や思いやり・優しさの心を抱かせます。
- 「なかまウィーク」
 - ⇒小中一貫校(小規模校)ならではのなかまづくり



学校生活（スクールライフ）



主な年間行事予定



新しい標準服



むくのき学園エンブレム

啓発小学校と中島中学校の校章に使われている「むくのき」の葉のイメージを残し、「K」は啓発小学校「N」は中島中学校を表しており、中央の「M」は「むくのき学園」の頭文字です。

